

経営比較分析表（令和元年度決算）

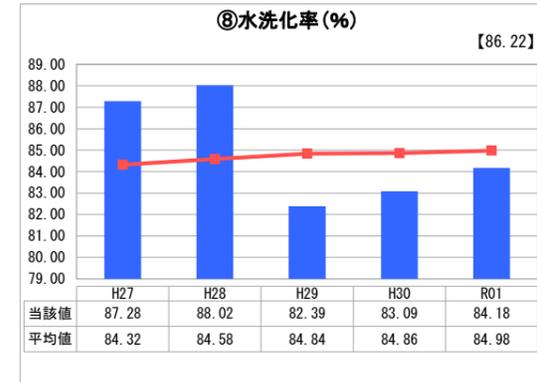
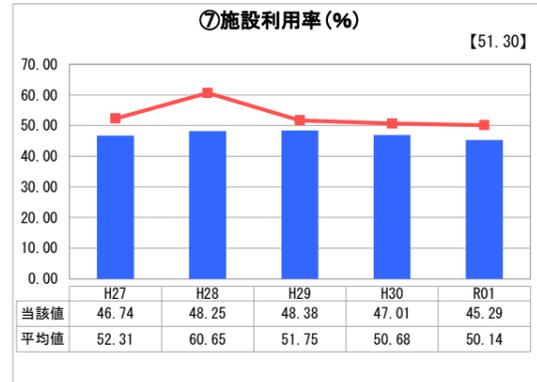
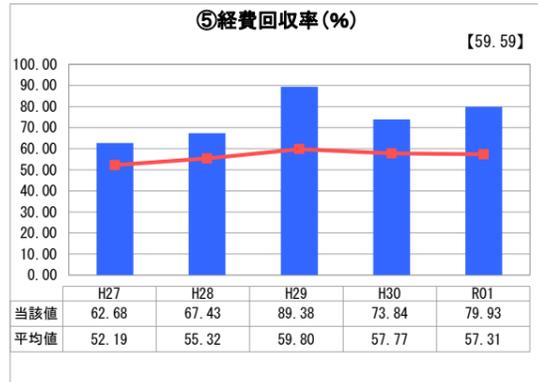
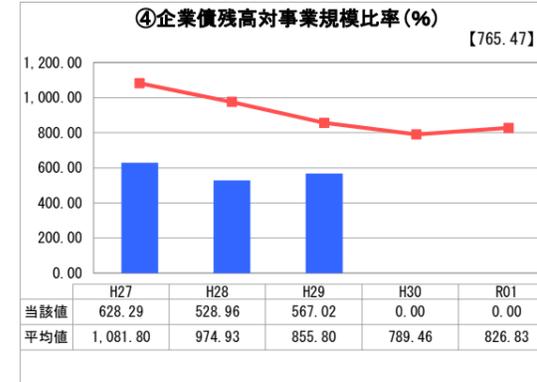
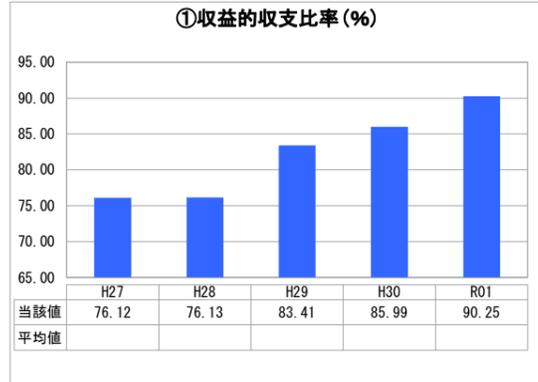
宮崎県 日向市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.35	100.00	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,283	336.94	181.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,648	2.18	1,214.68

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度と比較すると、収益的収支比率については4.26ポイント増加、経費回収率については6.09ポイント増加となっています。どちらも増加傾向ではありますが、100%に満たない数値となっており使用料収入の確保が引き続き課題となります。

企業債残高対事業規模比率は、前年度より繰出基準割合の算出で一般会計からの繰出金から全てを負担していることから0.00%となっています。

汚水処理原価は、前年度と比較して34.36円減少となっています。汚水処理費となる支出の一部は、令和2年4月より公営企業会計へ移行したことに伴う打切決算で、3月末までの委託契約分の支払が4月以降となり未払いが生じたことによる減少が考えられます。

施設利用率については、前年度との比較で1.72ポイント減少となっているため、施設の利用状況や適正規模については、接続人口を増やしても処理する余裕があるといえます。

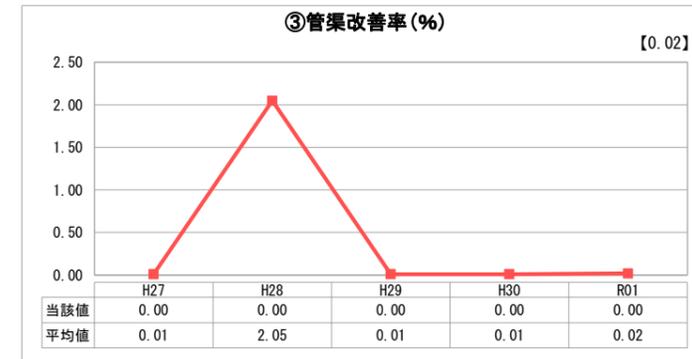
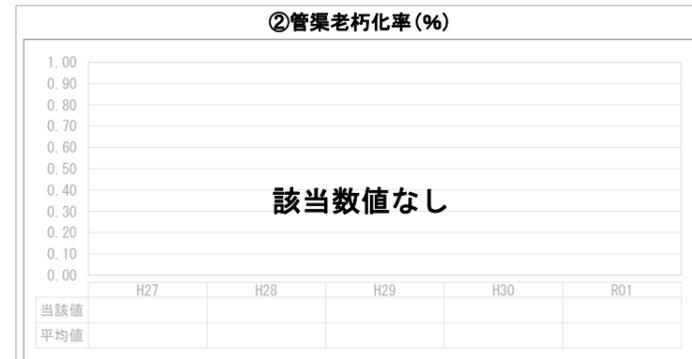
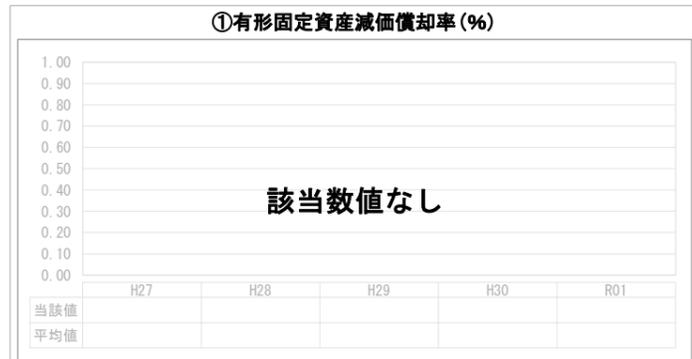
水洗化率は、前年度より1.09ポイント増加しているのは、例年通り新規接続者がいるためです。処理区域内人口が減少する傾向にありますが、今後も新規接続を増やしていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

供用開始後15年以上経過しているため、更新工事を控えています。近年は緊急修繕に対応しています。

現在、更新工事に向けた事業計画を策定しているところで、令和3年度から事業計画に乗せた工事を行っていく予定です。

2. 老朽化の状況



全体総括

使用料の減少額より汚水処理費の減少額が大きかったために全体の経費回収率が増加していますが、それぞれの減少は、令和2年度から公営企業会計へ移行したことに伴う経理の閉鎖時期の早期化による影響が大きいといえます。

上記のように前年と容易に比較できない部分もありますが、今後の課題は例年通り使用料収入の確保や接続率の向上となります。

令和3年度からは、老朽化が進んでいる建設工事も始まることから、確実な収入源の確保と支出の計画的執行に取り組む必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。